

2015年
夏号

2015年8月発行



東京からカエル!!



photo by M.Morozumi

このたびは、平成27年度東京都予算と6月定例会での質疑を中心に、都政の動きをお伝えします。

[illegible]

区 分	27年度	26年度	増減率
一般会計	69,520	66,667	4.3%
特別会計	47,045	42,694	10.2%
公営企業会計	22,140	24,033	△7.9%
合 計	138,706	133,394	4.0%

3 一般質問から

平成27年第3回都議会定例会は6月9日から24日までの日程で開催され、東京都安全・安心まちづくり条例の一部を改正する条例など28件の議案を可決・成立し閉会しました。この定例会で、両角は①新国立競技場の整備について、②豊洲新市場の千客万来施設について、③都立高校での主権者教育について、④在京外国人児童・生徒への日本語指導の充実について、⑤多摩地域への在京外国人生徒対象枠募集校設置について、⑥JR横浜線下り橋本止まりの終電延長について、⑦多摩都市モノレール延伸について一般質問を行いました。主な質疑をご紹介します。



本会議終了後、
舩添都知事と意見交換

新国立競技場の都負担は都民が納得する形で！

オリンピック・パラリンピックを5年後に控え、メイン会場に予定される新国立競技場建設が揺れています。予算を含む整備概要が固まらないなかで下村文科大臣から都知事に周辺整備費500億円の都負担要請があり、それ以降、国と都の不協和音は拡大してきました（その後、総工費2,520億円に確定）。以前に、両角がオリンピック・パラリンピックの特別委員会で指摘・要望したように、都支出の前提として国からの十分な情報提供と都民の納得が必要です。

そのような観点から私たちは今回の知事の基本姿勢を支持します。その上で、オリンピック・パラリンピックに向けてしっかりと施設整備ができることが重要と考えています。

一般質問では、都庁内での認識や情報共有が不十分である

ことを指摘し、知事に新国立競技場についての今後の対応を問いました。国からの全体像説明を踏まえ検討するとの答弁がありました。



新国立競技場イメージパース（独立行政法人 日本スポーツ振興センターHPより）

Q（両角議員）過去の委員会では、担当副知事が「国からの負担要請はあった」と答弁しているが、都は組織として国からの費用負担はあったと認識しているのか？

A（オリンピック・パラリンピック準備局長）文科大臣から当時の前知事に対し一部負担要請があったと委員会答弁をしているが、公文書での要請はない。舩添知事が文科大臣から正式要請を受けたのは今年5月18日が初めてである。

Q（両角議員）平成25年12月25日の大臣記者会見で下村文科大臣は、「都議会と直接話し500億円の都負担の内諾を得た」と発言しているが、都議会がそのような約束をしたとの報告はどこにもない。そもそも、都予算を外部機関に支出することを都議会単独では了解し得ないはずだが、知事の見解は？ また、今後、文科省・JSC（日本スポーツ振興センター：新国立競技場の整備主体）とどう協議を進めていくつもりか？

A（舩添都知事）下村文科大臣の発言は報道で承知している。今後の協議については、新国立競技場にかかる工期や総工事費、都負担の根拠など全体像を明らかにするよう国に求めており、その情報を踏まえ検討していく。

豊洲新市場の場外施設「千客万来施設」をどうする！

都民の台所、築地市場は来年（平成28年）11月上旬に、現在整備中の豊洲新市場へ移転することが決定しています。都は新市場開場と同時に、場外施設「千客万来施設」を整備し、築地市場の賑わいや食の伝統を新市場に引き継ぐこととしています。

ところが、「千客万来施設」事業者に内定していた企業（大和ハウス工業と株式会社喜代村）が相次いで参加を辞退。

今年の6月、都は白紙の状態から事業者を再公募すると発表しました。

このため「千客万来施設」の豊洲新市場との同時オープンは不可能となってしまいました。そこで、これまでの都の不手際を指摘し、真摯な反省とともに今後の取組みを質しました。質問により、今後の5街区、6街区の整備方針が公式の場で初めて明らかになりました。

Q（両角議員）再公募方針では、これまでの「千客万来施設」の対象地区とされていた5街区を外したがその理由は？ また、そのことで事業目的に支障はでないのか、今後の5街区の活用方針は？

A（中央卸売市場長）事業者が開発しやすい環境をつくる観点から5街区・6街区一体開発の条件を緩和した。6街区を先行募集することで着実に施設整備をし、今後、5街区は、その状況を見て別途再公募していく。

都立高校での主権者教育を進めよ！

今年6月17日に18歳以上から投票が可能となる公職選挙法改正案が可決・成立しました。これにより、来年夏の参議院選挙では現役高校生も投票が可能となります。今後、学校教育の場、特に高等学校での主権者教育が重要となると考えられるため、都立高校での取組みを教育長に質しました。

教育長からは「充実を図りたい」と前向きな答弁がありました。



イメージ写真

Q（両角議員）法改正を踏まえて、どのように都立高校での主権者教育に取り組んでいくつもりか？

A（教育長）現在、各高校で行なわれているすぐれた実践事例を周知し、国の動向も踏まえて都立高校における主権者教育の充実を図っていく。

日本語指導を充実し、在京外国人生徒枠募集校を多摩地区に設置せよ！

グローバル化の進展に伴い現在、都内では多くの外国人や日本語を母語としない児童・生徒が公立小・高等学校で学んでいます。こうした子ども達を支援するため都では市区町村が設置する日本語学級（都内に27小中学校）への支援や特別な入試制度を持つ高校（在京外国人生徒募集枠校）を設けています。

しかし、日本語学級では、個々の教師が試行錯誤しながら様々な教科を教えているのが実態であり、都がこれまでの知見を生かして、情報提供や実践的な研修を行なうなど、支援を強化すべきです。また、在京外国人生徒募集枠校（入試形態を配慮し、入学後日本語指導に力を入れている高校）は多摩地区にはなく、八王子の生徒などは実質的には制度が利用できない実態であり、アクセサビリティを考慮した設置が必要と考え、東京都教育委員会の見解を質しました。

行政側から、日本語指導については「研修の充実を推進」、そして、在京外国人生徒募集枠校設置については、これまで十分な考慮がなされていなかった「居住地状況等」を勘案するとの答弁を引き出しました。

Q（両角議員）学校現場の声を踏まえて教授方法等の情報提供や実践的研修実施など日本語指導の充実が必要だが今後の取組みは？

A（教育長）区市町村教育委員会と連携し、小中学校における日本語指導の課題等を把握し、すぐれた指導事例の情報提供や研修の充実など、教員の指導力を高めていく。

Q（両角議員）現在、在京外国人生徒募集枠を持つ都立高校は国際高校（目黒区）、飛鳥高校（北区）、田柄高校（練馬区）の3校とすべて区部であり、多摩地域の中学生は、実質、在京外国人生徒対象枠の利用が出来ない。多摩の各地からアクセスの良い場所に設置すべきではないか？

A（教育長）現在の3校の入試応募状況、応募生徒の居住地の状況等を総合的に勘案し、検討を進めていく。

写真で見る 2015年上半期 の活動

1月



警視庁剣道大会に都議団チームの一員（右側）で出場し、終了後に警察行政について意見交換

2月



新八王子消防署開所式に出席し、施設を視察

3月



費用弁償見直し条例案づくりを主導。記者会見に臨む。

4月



八王子市川町にオープンした「セブンの森」開所式典で副知事と意見交換

5月



警察消防委員会でオリンピック・パラリンピック会場の警備計画を海上から確認

6月



会派で江東児童相談所を訪問し、児童擁護施策について意見交換

横浜線橋本止まりの終電を八王子まで延長せよ！

八王子みなみ野は、街開きから15年以上を経て成熟し、今では、都内でも人気の住宅街です。しかし、下り八王子行きの終電のあとに橋本行きが2本設定されている現在のダイヤでは、多くの皆さんが橋本からタクシー等で帰らざるを得ない状況です。今回、これまで誰も都議会で取り上げてこなかった横浜線のダイヤ改正の必要性を取り上げました。答弁は、

「ダイヤ改正は原則鉄道会社の対応と認識」というものでしたが、引き続きJRに働きかけるなどして、みなみ野地区の地域価値向上に取り組んでまいります。



JR横浜線



JR横浜線八王子みなみ野駅

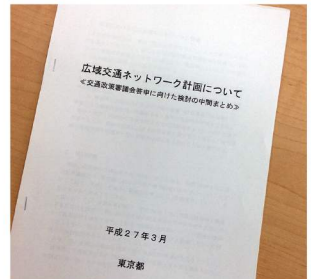
Q (両角議員) 青梅線、五日市線、横浜線を例に挙げたが、地域の公共の足確保や利便性向上に都の果たす役割は大きい。多摩地域の鉄道輸送サービス向上に関する所見は？

A (都市整備局長) ダイヤ設定などは原則、鉄道事業者が対応すべきものと認識。今後とも人口、土地利用等の社会条件を踏まえ、市町村とも連携し、公共交通利便性向上に努める。

多摩都市モノレール八王子区間延伸を取り上げなかった都の姿勢を問う！

八王子市では多摩都市モノレール八王子ルート延伸を実現べく取組んでいます。こうしたなか、都は国の交通政策審議会への中間意見をまとめましたが、そこでは整備に着手すべきという位置づけがなされず、優先度が低いものとされました。そこで、このような判断に至った根拠を問いました。

今後、7月の都最終意見を踏まえ、今年度中に国の交通政策審議会から答申が出される予定です。



東京都が3月に出した「交通政策審議会答申に向けた検討の中間まとめ」

Q (両角議員) 3月の都の「中間まとめ」では、モノレール八王子ルートが「整備効果が高いと見込まれる5路線」から漏れた。このことに対する都の考えは？

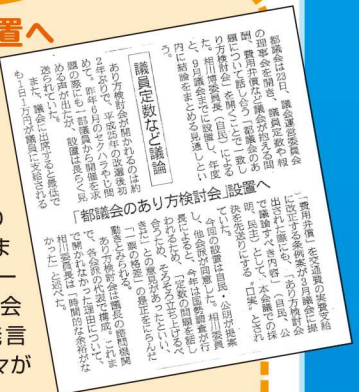
A (都市整備局長) モノレール八王子ルートについては、多額の事業費や計画ルートが既存鉄道路線と競合し需要の確保に課題があると考えている。

コラム

都議会のあり方検討会設置へ

私たちは、昨年のセクハラヤジ問題発生後すぐから、都議会改革を進めるべく、早期に議論の場である「都議会のあり方検討会」を設置するよう再三申し入れを行ってきました。そして、ようやく「都議会のあり方検討会」を設置していくことが決まりました。遅きに失したとはいえ、一歩前進と捉えています。この検討会で、都議会の定数問題、不規則発言(ヤジ)に関する扱い、費用弁償等々が話し合われていくことになります。

平成27年6月24日 産経新聞



もろずみみのる 都政報告映画会開催！

話題の感動作で秋のひとときを過ごしませんか？ 奮ってご参加ください。



©2015「愛を積むひと」製作委員会

愛を積むひと

佐藤浩市、樋口可南子、北川景子出演
— 大切な人へのこしたいものは、何ですか。—

日時 10月3日(土)

午後2時 開場、2時30分 開会

場所 オリンパスホール八王子

八王子市市安町4-7-1 サザンスカイタワー八王子 4F

★全席自由(前売りチケット制 1000円)

★申込み・問合せ：FAX、メール、電話にて両角事務所まで



都政のこと、八王子のこと...
皆さんの声をお寄せ下さい。

連絡先

東京都議会議員 もろずみみのる 事務所

〒192-0051 八王子市元本郷町1-18-2 木下ビル2階

電話：042-620-8155、FAX：042-620-8177 e-mail：hachioji.m@gmail.com



東京からカエル!!